

社会教育課からお知らせ

もりやま やまもり ふるさとマルシェ2019開催

守山の地域素材と魅力が詰まったふるさとマルシェを開催します。市内の小学生51人と企業がコラボした限定商品など、多数の店舗が出展します。皆さまのご来場お待ちしております。詳しくはホームページをご覧ください。

時8月11日(日)午後3時30分～6時30分
(開会セレモニー・チケット販売:午後3時～)

※予備日:8月18日(日)

所あまが池親水緑地

主催 公益社団法人守山青年会議所

場公益社団法人守山青年会議所

☎(582)5168 ㊟(582)7046



ホームページ



文化・スポーツ課からお知らせ

佐川美術館特別企画展と 「守山市民の日」

特別企画展

「名刀は語る～美しき鑑賞の世界～」開催

国宝・重要文化財を含む太刀や刀をはじめ、刀装具などの名品を展示します。



国宝《太刀 銘一》

時7月10日(水)～9月23日(月・祝)

午前9時30分～午後5時(最終入館:午後4時30分)

※祝日を除く月曜日と7月16日(火)、9月17日(火)

は休館

¥中学生以下:無料(保護者同伴要)、高校・大学生:
600円、一般:1,000円

守山市民の日を実施

守山市民は佐川美術館に無料で入館できます。また、開館時間も延長されます。

時7月26日(金)午前9時30分～午後6時(最終入館:
午後5時30分)

持市内在住であることを証明するもの

場文化・スポーツ課 ☎(582)1169 ㊟(581)2733
佐川美術館 ☎(585)7800

佐川美術館
アートコラム⑳

世界に誇る伝統美―日本刀

公益財団法人佐川美術館

学芸員:藤井 康憲



近年、刀剣を擬人化したゲームが火付け役となつて、若者の間で刀剣ブームが巻き起こっています。刀剣の中でも、時代劇などでよく目にする「日本刀」は、日本固有の鍛冶製法によって作られた刀で、その歴史は古く、反りのある独特な形状になったのは今から約900年前の平安時代末期まで遡ります。当時の日本は源氏や平氏といった武士が台頭してきた時代で、打ち続く合戦のさなか、数々の名刀が生み出されました。その優美な姿、千変万化する刃文は日本刀の魅力のひとつで、長い歴史を経た今もなお美しい輝きを放っています。

一口に「日本刀」と言っても、その種類はさまざまです。刃の長さがおおむね2尺5寸(約70〜80cm)で、腰から吊るして身に付けた「太刀」は、馬上での戦いで用いられました。徒歩での戦いで用いられた「打刀」は、刀を抜いて振り下ろすように使用され、鞘から抜き差しがスムーズにできるよう、刃先を上に向けて腰に帯びました。また、1尺(約30cm)から2尺未満の長さの刀は「脇指」といい、破損などで打刀が使えないときの副兵装として用いられました。時代劇などで侍が長い刀と短い刀を腰に差しているのはこのためです。1尺より短い刀は、その名の通り「短刀」といいます。

佐川美術館で開催中の「名刀は語る―美しき鑑賞の歴史―」では、織田信長が所持し、長篠の戦いで武功を立てた奥平信昌に下賜された名刀、国宝の「太刀 銘一」をはじめ、徳川四天王の一人、本多忠勝が愛用した天下三名槍の一つに数えられる「大笹穂槍 銘 藤原 正真作(号 蜻蛉切)」など、戦国口マンをかき立てる魅力あふれる名品も紹介します。